

第2章 計画の基本的な考え方

2.1 基本理念

「どこにもない 魅力まちづくりの舞台開き」は、市民主体による創意あふれるまちづくりにより、人々の交流や多様な文化・コミュニティの場となる新しいにぎわいのまちづくり空間として、草津市の都市価値を高めることを目的としています。

このことを進めていくためには、草津宿をはじめとする草津独自の歴史・文化を活かし未来へと発展させることが求められます。また、望ましい新たな未来は、天井川*が自然と人の手の両方の相乗作用によって造られたように、人と自然の力が相まみえることにより、歴史・文化そして都市・環境を創りだすことによりもたらされます。

以上の観点から、本計画では次の基本理念を設定して、どこにもない 魅力まちづくりの舞台開きの実現を目指します。

■計画の基本理念

「歴史をつくる、人と自然の合作」

2.2 計画目標

歴史・文化などの固有の資源、都市構造上の立地特性などを踏まえ、環境への負荷低減と都市活力の拡大の両立を実現し、今後長きにわたり発展し続ける未来志向型の空間形成に向け、基本理念の基に以下の計画目標を設定します。

■歴史・文化・資源を活かし未来に継承

草津宿本陣や旅人を導く道標、堤体沿いの桜並木、湖岸沿いに広がる広大な農地など固有の歴史・文化的な資源や、天井川ゆえの地形による琵琶湖対岸の比良・比叡の山並みや背後の湖南アルプス・三上山の眺望景観などを活かし、わがまちの記憶を未来へと継承します。

■新しいまちづくりによる都市の特徴づくり

自然環境との共生、健康・安全を求めたオーガニック*指向、支え合う地域コミュニティ*の再構築、市民が自ら参画する協働のまちづくりなど、先進的なまちづくり・ライフスタイル*を実践する舞台とすることで、草津らしい独自の都市景観を創出し、次世代型都市としての個性・魅力を磨きます。

■市街地の活性化をはじめとした都市再生

草津市の中心的な市街地のほぼ中央を貫いて琵琶湖につながる立地、周辺に点在する駅や商業施設、公共施設との近接性などを活かし、草津川跡地で展開される集客性の高い魅力的な環境や施設・機能との連携により、既存の市街地を核とする都市機能の集約化を図ることで、都市構造を強化し、持続的な都市としての発展、再生を図ります。

注：文中の*は「参考資料 用語解説」で用語の解説を記載しています。

2.3 目標達成に向けての基本的戦略

計画目標を実現する上で、以下の7つの戦略に基づき、ハード面・ソフト面にわたる具体的な計画を展開することとします。

■歴史・文化・環境の保全・活用

街道沿いの宿場町として成り立ち、交通結節点の強みを活かした発展の中で、多彩な歴史・文化資源が培われてきました。また、天井川*としての旧草津川は、市民の心の中にとどまっています。それら草津の歴史、文化、環境を保全・活用し、空間・施設デザインなどに反映することで、草津ならではの都市環境の形成につなげます。

■都市価値の向上

高い水準のデザイン性を備えた空間をはじめ、環境共生型の空間・施設、自動車依存の少ない交通マネジメント*、立地特性を活かした防災空間などの先進的・独創的な機能・空間を積極的に展開することで、全国に発信できる先進的な空間を創造し、草津市の都市価値を高めます。

■新しい成長戦略の展開

グリーンツーリズム*やエコツーリズム*などの新しいレクリエーション・観光事業をはじめ、周辺地域と連携した回遊性の向上や魅力的な集客施設の導入、高付加価値型の園芸・農業など、新しい経済活動が生まれる仕組みづくりを行うことで、市民が常に集い、多くの来訪者が行き交う場として、草津市の新たな成長戦略を展開します。

■環境共生への対応

多様な植生を生み出す植栽計画、ビオトープ*の配置など、生物多様性*の考えを取り入れた多自然型の環境を創りだします。また、自然エネルギーの利用や維持管理に伴う雑草・落ち葉・剪定枝の再利用など、資源の有効利用を推進し環境共生への対応により、低炭素まちづくりのモデルとします。

■都市機能の連携・強化

草津川跡地に沿って立地する駅や商業施設、市役所・公園・学校などの公共施設と連携・補完する機能展開と空間デザイン化を図ることにより、交通機能・都市福利機能*はもとより、コミュニティ・防災・環境面などの都市機能の充実・向上を目指します。

■農空間の積極的な活用

湖岸沿いに広がる農空間を活かし、連携する菜園ガーデン*や牧場など、都市と農村の交流空間・農体験の場として積極的な活用を図ります。また、周辺農家と連携した直販所や自然食レストランなど、健康・安全を求めたオーガニック*志向に応える機能を導入します。

■地域マネジメントの確立

市民や事業者の参画した自立的な組織が、継続的に維持管理・運営など行う仕組みを確立し、低コストによる質の高い空間の維持・管理を行うと共に、民間の発想を取り入れた自由度の高い企画や施設運営を図ります。また、自己実現の場となる多様なコミュニティ活動の展開などを図ります。

注：文中の*は「参考資料 用語解説」で用語の解説を記載しています。

2.4 空間目標と空間像

「魅力まちづくりの舞台開き」を実現するためには、目に見える空間をどれほど質の高い、永く未来の感性にも応えられるものとするかが、きわめて重要です。

そこで基本理念である「歴史をつくる、人と自然の合作」を具体的な空間として表現するため、求められる役割や場のイメージを踏まえた、空間目標を明確に掲げることとします。

新たに創りだされる空間は、過去から現在、未来までもが感じられる空間であると共に、人と自然のふれあい、関わり合いを通して人間として健やかな心身が育くまれ、生命力が得られる場であることを目標とします。

■空間目標

「時の流れを見つめる場を提供し、心身が癒され^{いや} 生きる力が得られる場」

空間目標とした「時の流れを見つめる場を提供し、心身が癒され生きる力が得られる場」は、単に自然としての緑を保全・再生するにとどまらず、時間をかけて人の活動と自然とが共生し、双方が関わり合い、共に成長していくプロセスの中で実現されます。また、使う側・作る側が一体となって植栽環境を楽しみ、創造するなど空間で繰り広げられる活動により、生き生きとした風景が創出されます。

このように、多くの人に関わり、自然と人が時と共に生き、成長する空間づくりを“ガーデン^{*}”としてとらえ、その中で「人と自然」「人と人」がつながり、共に生きる空間像を「人と自然 人と人がつながるガーデンミュージアム^{*}をめざして」と設定します。

ガーデンミュージアムは、自然の中に手本を求め、ありのままの自然の花や木の姿を活かした美しく感動を呼ぶナチュラルガーデン^{*}の考え方に基づいて、「ガーデンのすべてが楽しめる」ように、多彩なガーデンの姿を創りだします。

■空間像

**人と自然 人と人がつながる
ガーデンミュージアムをめざして**

注：文中の*は「参考資料 用語解説」で用語の解説を記載しています。

2.5 ガーデンミュージアムの整備の方向性

「ガーデンミュージアム*」が「これまでにない先進的で魅力的なガーデン*」となり、全国へ発信することで、草津市の都市価値を将来にわたり支えることを目標に、下記の整備の方向性を示します。

■高い水準のガーデンデザインを表現

画一的な公園や緑地でもなく、形式的な「作庭」ではない、自然と人の共生を基本とする新しいガーデンデザインを全域で実施することで、質の高い空間づくりを図ります。全国から人を集めている「北海道ガーデン*」や、世界が注目するニューヨークの高架鉄道跡をガーデン空間に変身させた「ハイライン*」などにひけをとらない水準を目指し、市街地と琵琶湖をつなぐ、他所にはない条件を活かして、草津川跡地ならではのオンリーワンを創造します。

■ガーデンスタイルの全てを備える

ガーデンには様々な種類がありますが、草津川跡地の特性を活かし、変化に富んだガーデンを知り、楽しめるようにします。

斜面を利用したロックガーデン*、水の流れを取り入れたウォーターガーデン*、山野草や雑木林のあるフォレストガーデン*など可能性を広げます。

■ガーデニングを愛する人たちの集いの場

近年の、ゆとりや自然回帰志向を背景に、世界でも日本でもガーデニング*に親しむ人々が増えつつありますが、しっかりとガーデニングを身につける機会や情報交換の場、良い花苗やガーデニンググッズが得られるところが少ない現状があります。そんなニーズ*に全面的に応えられるソフト・ハードをそろえます。

市民が参加して、作り、育てるプロセスが常にみられることも、ガーデニング愛好者のメッカになる要素です。

■みどりと生活、産業、文化の新しいつながり方の提案

ガーデニング人口が増え、より高いレベルの苗木やグッズへのニーズが高まることに対応して、計画地やまちなかに関連商品を扱う事業所立地を促します。さらに、そこに素材を提供する園芸農家や生産機能が求められます。あるいは、働き手や商品・技術開発のための教育・研究機能を引き出していくなど、新しい生活提案と共に産業・文化が連携していく仕組みを作ります。

■まちと一体となるみどり、まちを行き交うみどりの創出

草津川跡地が天井川*であり、街道の追分、東海道と重なり、商店街などにぎわいの通りと交差するという特性を活かして、歴史あるまちなみや街道のたたずまいと相乗効果が出るよう、まちとのつながりを、計画の重要な要素として印象的な「交差点」「ビューポイント*」として、できるだけ多くガーデニング手法により創り出します。

注：文中の*は「参考資料 用語解説」で用語の解説を記載しています。

